

令和 8 年 8 月 7 日

各市町村長
各市町村教育委員会教育長 } 様

群馬県市町村公文書等保存活用連絡協議会

会 長 小 池 俊 英

(群馬県立文書館長)

群馬県内でのニューハクシミの確認について (通知)

群馬県総務事務管理課が管理する県庁舎文書庫において、文化財等に被害を及ぼす害虫調査を実施したところ「ニューハクシミ」が確認されました。

群馬県内でニューハクシミの確認事案が報告されたのは今回が初めてであることから、構成員の皆様へ注意喚起を図るため、お知らせします。

なお、群馬県庁の公文書を保存・保管する群馬県立文書館では、虫害対策として、以下の取組を実施しております。現在のところ虫害は確認されておりませんので、参考にお知らせします。

- 1 受入文書の二酸化炭素燻蒸
- 2 衛生管理 (定期清掃) 温湿度管理
- 3 モニタリング (トラップ調査)

また、令和 8 年 10 月 30 日 (金) に「収蔵施設の虫菌害対策」をテーマとした研修会を実施する予定です。詳細については改めてお知らせします。

< 連絡先 >

群馬県市町村公文書等保存活用連絡協議会事務局

群馬県立文書館 公文書係 担当：渡邊・中山

E-mail : monjyo@pref.gunma.lg.jp 電話 : 027-221-2346

令和8年8月6日

総務部総務事務管理課文書係

電話：027-226-2461、内線：2461

県庁舎文書庫におけるニュウハクシミの確認について

県庁舎文書庫において文化財等に加害する害虫調査を実施したところ、「ニュウハクシミ」が確認されました。

また、群馬県内で「ニュウハクシミ」が確認されたのは初めてです。

1 経 過

7月15日 職員がニュウハクシミの疑いがある個体を確認

8月 4日 独立行政法人国立文化財機構東京文化財研究所からニュウハクシミと
同定連絡あり

なお、東京文化財研究所によると、現在、侵入して間もない段階と思われ、文書庫内
文書の移動が限られていることから、県庁舎外部に拡散する可能性は極めて低いとのこ
とです。

2 今後の対応

- ・ 防除用キットによる駆除作業
- ・ 清掃の徹底による繁殖防除対策
- ・ 文書庫の利用方法の周知徹底（文書庫専用の履物に履き替える、梱包材を持ち込まないなど）

3 ニュウハクシミとは

ニュウハクシミは、古文書などの紙を食害する外来種の害虫。繁殖力が強い
ため、防除が非常に困難のため、早期発見・早期対処が極めて重要と考えられて
います。

また、博物館資料や梱包資材等に付着し、資料の移動にともな
って分布域を広げていると考えられています。日本で初めて報告された
令和4年は5都道県だった分布域が、令和7年9月末時点で19都道府
県に拡大しています。

